



「思い愛」を地域につなぐ

大野北地区社会福祉協議会（相模原市）

大野北地区はJR横浜線「淵野辺駅」を中心とする住宅地で、小中学校、大学と文教施設も多い、高齢化率一・三%の地域です。若い世代が多い一方で、古くからの住民もおり、今後急速に高齢化が進行すると予測されています（人口約五万二千九百五十九人のうち、六十五歳以上の方は、六千八百人、本年十月一日現在）。

そこにある大野北地区社協（以下、地区社協）で、現在、最も力を注いでいるのが「思い愛ネットワーク事業」（以下、ネットワーク）です。独り暮らしの高齢者、高齢夫婦等百三十六人の対象に対し、二百二十人のネットワーク員が、訪問・見守りをしています。

また、利用者同士が日常生活で関わりを持てるよう、茶話会や手芸会、趣味の集まり等のサロンの運営、広報紙の配布などを行うことで、孤立しがちな方々の生活の支えになっています。さらに、生活上の相談もネットワーク員が受け止めています。

ネットワークを始めたわけ

平成七年一月に発生した「阪神・淡路大震災」は、地区社協をも揺るがしました。



みんなでおしゃべり大集合!!

「地区が同様の災害に遭ったら、高齢者や障害者はどうなる？」

地区社協は、全ての地域住民を巻き込んだ日常的な近隣のつながりをつくり、災害時にも安否確認をし合えるような近隣関係を作っていくこうとする、ネットワークを考え始めました。

ネットワークをひびくために

ネットワークを始めるために、研究会を開催し、二年間にわたり検討を重ねました。また、先進事例を視察し、地域の様々な団体や立場の人たちと一緒に考えた結果、「安否確認や見守りを、地域にある全ての団体や住民が取り組むものにしていく」と決まりました。

活動を行うネットワーク員は、自治会、民生委員児童委員、ボランティア、老人クラブ連合会、母親クラブ、公募で集まった住民の方等多岐にわたります。

訪問の対象となる方については、プライバシーに配慮した結果、「利用会員」として、自己申告方式をとりました。地区を十三に分け、班長を中心に情報交換や問題を話し合い、班長同士で運営委員会を組織し、事業運営を行っています。

事業開始から丸四年が経過し、住民の顔の見えるつながりをも一つひとつ創り出してきた地区社協。今年、子育て支援にも取り組んでいきたいと考えています。

（地域活動支援課）

※県社会福祉大会（六面参照）で、優良地区社協として表彰されました。

連絡先 ☎042-752-2023
JR横浜線「淵野辺駅」南口大野北出張所内

— 社会福祉施設の設計管理 —

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808

TEL03(3449)1771(代) / FAX03(3449)1772

E-mail : yasue-a@nifty.com



特養ホーム
(厚木市)

新築・増築・改修等お気軽にご相談ください